

# 『面白い仕事がしたい。』

あ！ここにありますよ。

- ◆社会に貢献したい。
- ◆やりがいのある仕事がしたい。
- ◆新しいことに挑戦したい。
- ◆素敵な上司、先輩と働きたい。

それ、全部叶います。

◆楽に、稼ぎたい。

↑気持ちはわかります。

でも。世の中にそんな仕事はありません。

## この仕事は、楽じゃない。 けど、楽しい。

当社が取扱うのは道路だけではなく。河川、上下水道、公園など、みなさんが安心して便利で快適な生活をおくるために必要な社会基盤施設のほぼ全般において測量設計を行っています。

実際に目に見える建設工事を行うのは建設会社の方々ですが、私たちは工事を行う前の段階で、事前調査や設計・検証はもちろん、場合によっては地権者との協議も行います。

たとえば、設計を行うにあたり、『ここに造ろう！』で、設計図面が引けるわけではありません。まずは、設置予定場所の正確な情報収集から始まります。そして、土地の起伏や構造物との位置関係、必要に応じて土質や水質の調査も行います。さらに、個人所有の土地にかかる場合には、譲渡交渉に必要な補償業務も行います。そうして必要な情報が集められたのち、発注者（主に国や県及び市町村）と検討を重ね、最終的に仕上がった図面をもとに建設が行われるのです。

他には、既存の建造物（橋梁等）の点検や、改修の設計も行います。

人々がより安全に、快適で便利な生活をおくれるように、ありとあらゆる知識と知恵を駆使するプロフェッショナル集団が、私たち株式会社関西技研です。（どやっ!）



応募先・連絡先  
〒520-3433 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場 515  
TEL 0748-88-2496  
E-mail recruit@kansai-giken.co.jp  
HP <http://www.kansai-giken.co.jp>  
担当者 営業部 岡（おか）

## ちょっと遠回りでも。 『とおりたくなる道』 ありませんか？



きれいな道。  
心地よい道。  
安全な道。

## そんな道を設計することが、 わたしたちの仕事です。

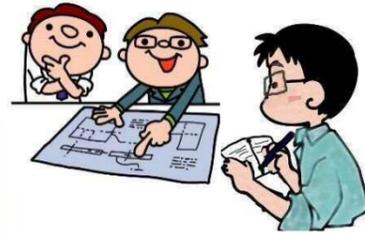
# あなたのチカラで「安全」な社会を 創り上げていきませんか？

interview with

**K. Yさん**

入社6か月（取材当時）

2018年入社 技術部設計課



## 目標の自分に一歩ずつ近づける会社

### どんな仕事をしていますか

私は、道路や構造物（擁壁・水路・舗装）の設計図を描いたり安全で走りやすい道路にするための値を計算したりしながら、報告書にまとめる業務を主に担当しています。どのような線形の道路にするか、道路を構成する構造物をどう設置するか等検討すべきことが多岐にわたるため、勉強しながら仕事を進めています。



測量設計業務において欠かせないのは、信頼される技術者の存在。そのため、人を育てる風土が根付いています。

### これからはどんなことを目指していますか

道路工学・水理学・地質学・測量学・材料の種類など、入社前に想像していた以上に幅広い知識を必要としますが、一気にすべてを任せられるわけではなく、先輩方に指導を受けながらじっくりと学び、着実に仕事を覚えていくことができる環境が整っています。今後は、様々な分野の勉強を進めて自治体からも会社からも信頼される技術者になりたいと思っています。

近年、災害の多発化や既存インフラの老朽化から、補修・修繕の必要性が高まっています。しかし、業界全体として若い技術者の不足が懸念されています。私はCAD（製図ソフト）の操作もままならない状態で入社しましたが、ソフトの操作も含め一から知識を身につけ、仕事を少しずつこなせるようになってきていると感じています。分からないことは、先輩方に聞けば丁寧に教えてもらえますし、理解するための時間も十分に与えてもらえることが非常にありがたい環境だと思います。公的な資格に対する手当もあり、資格取得を目指しながら働けます。道路、河川、橋梁等、インフラの整備に携わり、人々が安心して暮らせる地域づくりに貢献できる当社で、ぜひ一緒に働きましょう。

### 先輩技術者に聞きました！



◇どんな人が向いていると思いますか？

ひとつひとつ積み上げてじっくりと物事を完成させることが好きな人や、測量現場である山や川など自然が好きな人は向いていると思います。

◇どのようにして技術を身につけましたか？

作業規程書（国土交通省がだしているルール）や過去の成果品を参考に勉強したり、測量協会に指導を受けたりして技術を身につけました。

◇仕事のこだわりを教えてください

精度の高い作業を行うために、法令を遵守することや、測量作業はチームワークが大切なので仲間とのコミュニケーションを大切にしています。

interview with

**H. Tさん**

入社11年（取材当時）

2007年入社 技術部測量課



### どんな仕事をしていますか ～基準点測量～

現場へ出向き、すぐに機器を使い観測できるわけではありません。まず、調査する場所に赴き、現地を調べます。そして、基準点<sup>1)</sup>をどこにするか発注者との打ち合わせを重ね、計画を立てます。着手前の作業計画が決まり、ようやく現場で測量機器を使い測量作業を行うことができます。そして、観測した後は第三者機関にデータを提出し点検（検定）を受けなければなりません。このとき適切な測量が行われたのか、定められた品質に達しているデータかの評価が行われます。こうして検定に合格したデータをもとに図面を作成し、報告書にまとめ、納品することでひとつの業務が完了します。



### 思い出の業務を教えてください

当社では、GNSS<sup>2)</sup>による2級基準点測量の取り組みも行っています。なかでも、平成25年度に行った県道〇〇線道路改築測量業務は、私が初めてGNSSによる2級基準点測量を担当した思い出の業務です。このときは、社内でもあまり前例のない業務だったため、データの取りまとめ方や作業計画の立て方、観測や計算の方法などを測量協会に問い合わせたり、仲間と話し合ったりしながら、マニュアル片手に手探りで作業を進めていきました。なにが正解かわからないなか、データを検定に合格できるまでの資料にまとめる作業がとて大変でした。

初めての作業でわからないことばかりでしたが、前に進めていこうとする強い気持ちを持って課題に向き合うことで、次にすべきことが明確になりゴールにたどり着きました。法令を遵守し、かつ精度の高い成果をあげるために苦勞したことや経験が、今の自分の糧になっています。



ワンフロアに技術者が集まっているため、部署の垣根を超えてコミュニケーションを取りやすいのが特徴

- 1) 基準点…地球上の位置や高さが正確に測定された点のことで、全国に「水準点」「三角点」「電子基準点」などがある。
- 2) GNSS…GPS（米）など衛星航法システムの総称で、衛星からの電波を専用アンテナで受信して位置を観測する技術。